

日本産業科学学会 研究論叢

第24号 2019年3月

論 文

- 1・九州地区における教育の情報化推進と ICT 支援員に関する考察 池田 大樹
- 2・地域活性化における「道の駅」の比較検討 上田 幸則
- 3・セブン鈴木敏文の小売革新の展開 — 企業者史的アプローチ — 渦原 実男
- 4・「跳ぶ」動作における下肢に関する一考察 — バスケットボールの場合 — 大寺 真理子
- 5・社会的課題を解決する手段としてのシェアリングシティの可能性 金野 和弘
- 6・AI脅威論と科学情報過程論 島田 久美子
- 7・地域問題解決事業を通して変容する学生の意識の考察 — 富山県滑川市での事例 — 清水 義彦
- 8・物流・ロジスティクス概念と日本企業におけるその実態 杉浦 礼子
- 9・障がい者（こども）のスポーツイベントの普及に向けて 竹安 知枝
- 10・ネット・コミュニティ利用者における ライフログ提供のインセンティブについての考察 谷本 和也
- 11・20世紀前半ロサンゼルス周辺における石油開発と環境・地域社会問題
—1929～1930年ベニス地区の例（後編）— 張 焱
- 12・DMOのデジタルマーケティング機能に関する考察
— 観光市場におけるEC事業を中心として — 名淵 浩史
- 13・狭義のサービス・マーケティングとマーケティングとの関係性 松井 温文
- 14・斜陽産業と国策の援用 — 教育産業を事例に — 参川 城穂
- 15・オープンイノベーション下における製薬企業の競争優位の源泉 宮重 徹也
- 16・産業クラスターを形成する企業家ネットワーク分析に関する研究
:日清日露両大戦間の新潟県の事例 綿引 宣道